

実感空間モニターネットアンケート 「温浴施設に関するアンケート」集計結果・ダイジェスト版

■ 今回の調査について

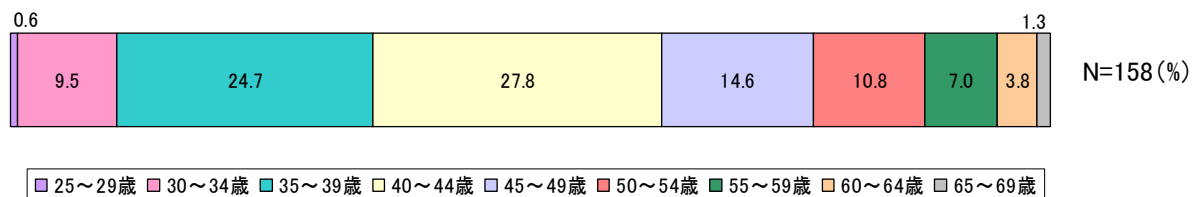
寒い季節になりました。年末・年始には、旅行先や帰省先で温泉に入って温まる・・・という方も多いのではないのでしょうか。最近では、街中にもスーパー銭湯・スパ施設・クアハウスなどの温浴施設が増え、気軽に温泉気分を味わえるようになりました。そこで、今回は日帰り温浴施設の利用状況について尋ねました。

■ 調査概要

【調査概要】

調査方法 アイ・キューブ実感空間モニターへのネットアンケート
調査期間 2007年12月11日(火)～12月17日(月)
サンプル数 女性 158名
対象者属性

■ 年齢別構成比

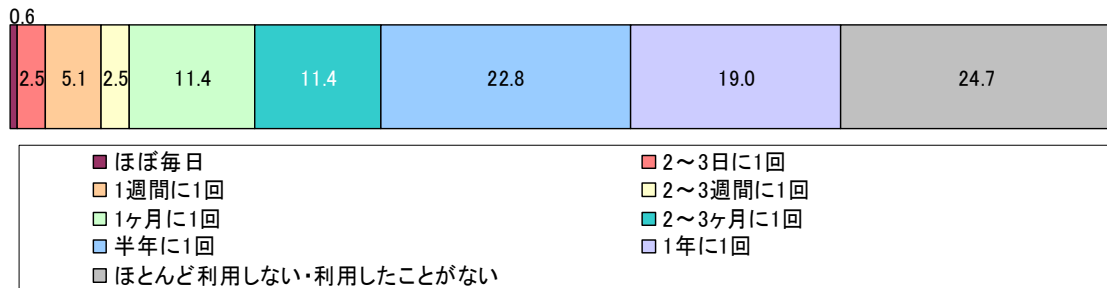


■ 総評

日帰りの温浴施設をほとんど利用しない・全く利用しないという人は2割強で、7割以上の方が、定期的にご利用しているようです。年に数回程度の利用の人が多く、月に1回以上行く人も2割以上おられました。利用時には「清潔感」があって「利用しやすい料金設定」の施設を選ぶ傾向がみられました。「日々の疲れを癒し、リラックス効果を得るため」に利用する人が多く、お気に入りの温浴施設としても、非日常感や旅行気分が味わえる「露天風呂」や「良質の天然温泉」を備えた施設を挙げる人が多数いました。30代・40代の子育て世代の場合、家族と共に「レジャー感覚」で温浴施設を利用している人が多いようです。お気に入りの施設を尋ねると、多種の浴場・プール・食事コーナーなど、設備が充実している複合施設を挙げる人が多く、親子共に楽しんでいる様子が伝わってきました。

■利用頻度

N=158(SA) (%)

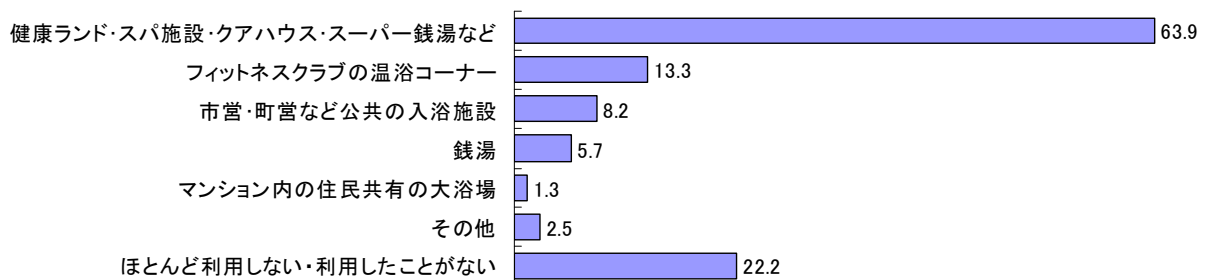


◇半年に1回~1年に1回の人4割強。毎月利用する人も、約2割。

7割以上の人、定期的に利用しており、温浴施設がレジャー施設として広く普及している様子が伺えます。2~3週間に1回以上利用する人は10.7%、1ヶ月に1回、2~3ヶ月に1回の人それぞれ1割ずつで、約2割の人は、毎月温浴施設を利用しているようです。

■よく利用する施設

N=158(MA) (%)

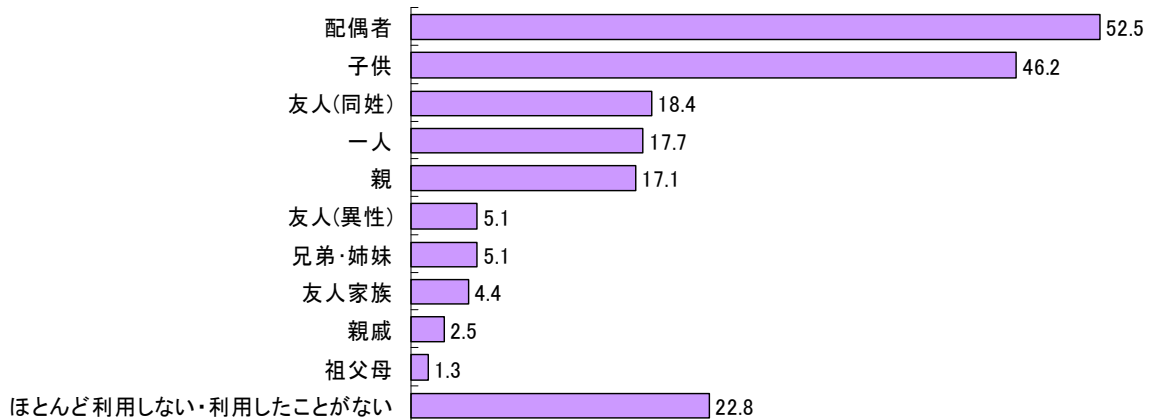


◇6割強の人が、健康ランド・スパ施設・クアハウス・スーパー銭湯などの温浴施設を利用。

次に、よく利用する施設を尋ねました。会員にならなければ利用できないフィットネスクラブや、施設数自体が少ない公共の入浴施設・銭湯・マンションの大浴場は利用する人が限られているようです。各地に点在していて、利用したい時に誰でも利用できる健康ランド・スパ施設・クアハウス・スーパー銭湯などは、6割を超える人が利用していることがわかりました。

■ 同伴者

N=158(MA) (%)

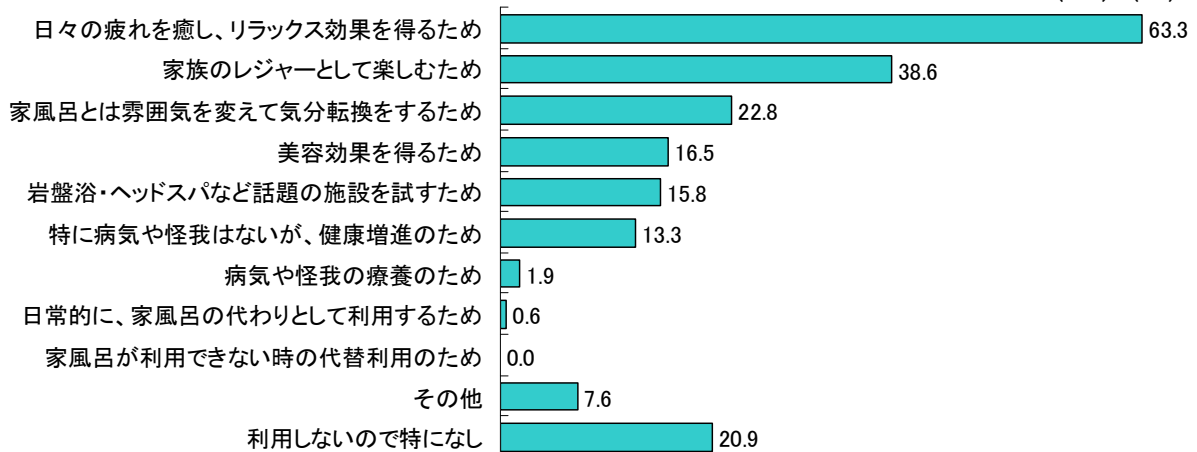


◇ 子供が小さい年代は、身近な家族と出かける人が多い。

30代は、68.5%の人が子供連れで出かけているようです。配偶者との同伴率も、この年代は66.7%で、他の年代(3~5割)よりも家族揃って出かける人が多いと考えられます。更にこの年代は、親との同伴率も比較的高い(29.6%)といった結果が出ました。

■ 利用目的

N=158(MA) (%)

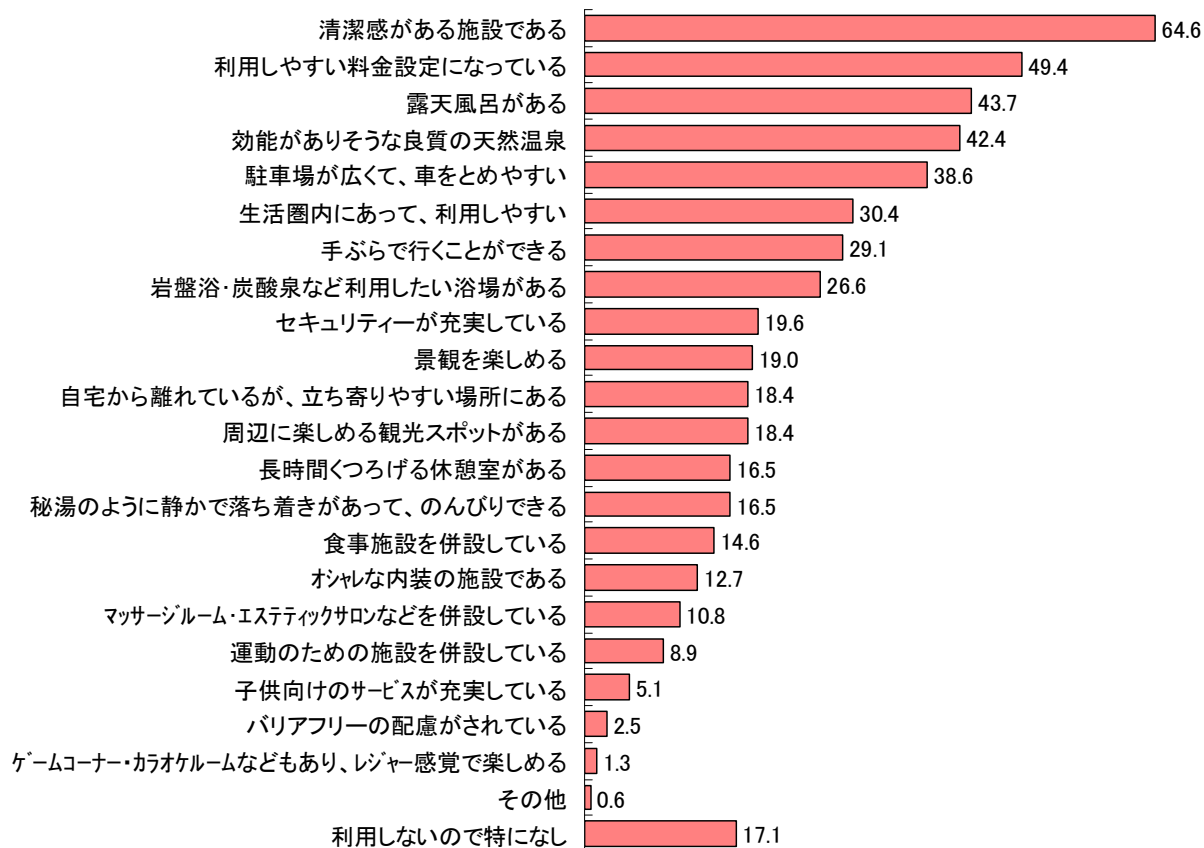


◇ リラックス効果を得るために利用する人が多い。

どの年代も「日々の疲れを癒し、リラックス効果を得るため」に日帰り温浴施設を利用している人が多いようです。また、子供連れの多い30代前半・後半・40代前半の人は、それぞれ53.3%・64.1%・43.2%の割合で、「家族のレジャーとして温浴施設を利用している」こともわかりました。更に、50代の女性は、35.7%の人が「美容効果を得るため」に利用しているという結果が得られ、他の年代よりも美容に対する意識が比較的高い年代と言えます。

■選択のポイント

N=158(MA) (%)



◇6割以上の方が「清潔感」を求めている。

温浴施設に対しては「清潔感」(64.6%)を求めている人が多いようです。直接肌に触れることもあり、衛生的にも視覚的にも、「清潔感」は第一条件と言えそうです。

◇半数近くの方が「利用しやすい料金」を選択のポイントに挙げている。

家族揃ってレジャー感覚で利用している人が多いという前問の回答結果からも、料金が嵩むことを敬遠しての選択ポイントだと考えられます。

◇4割強の方が「露天風呂」や「良質の天然温泉」を望んでいる。

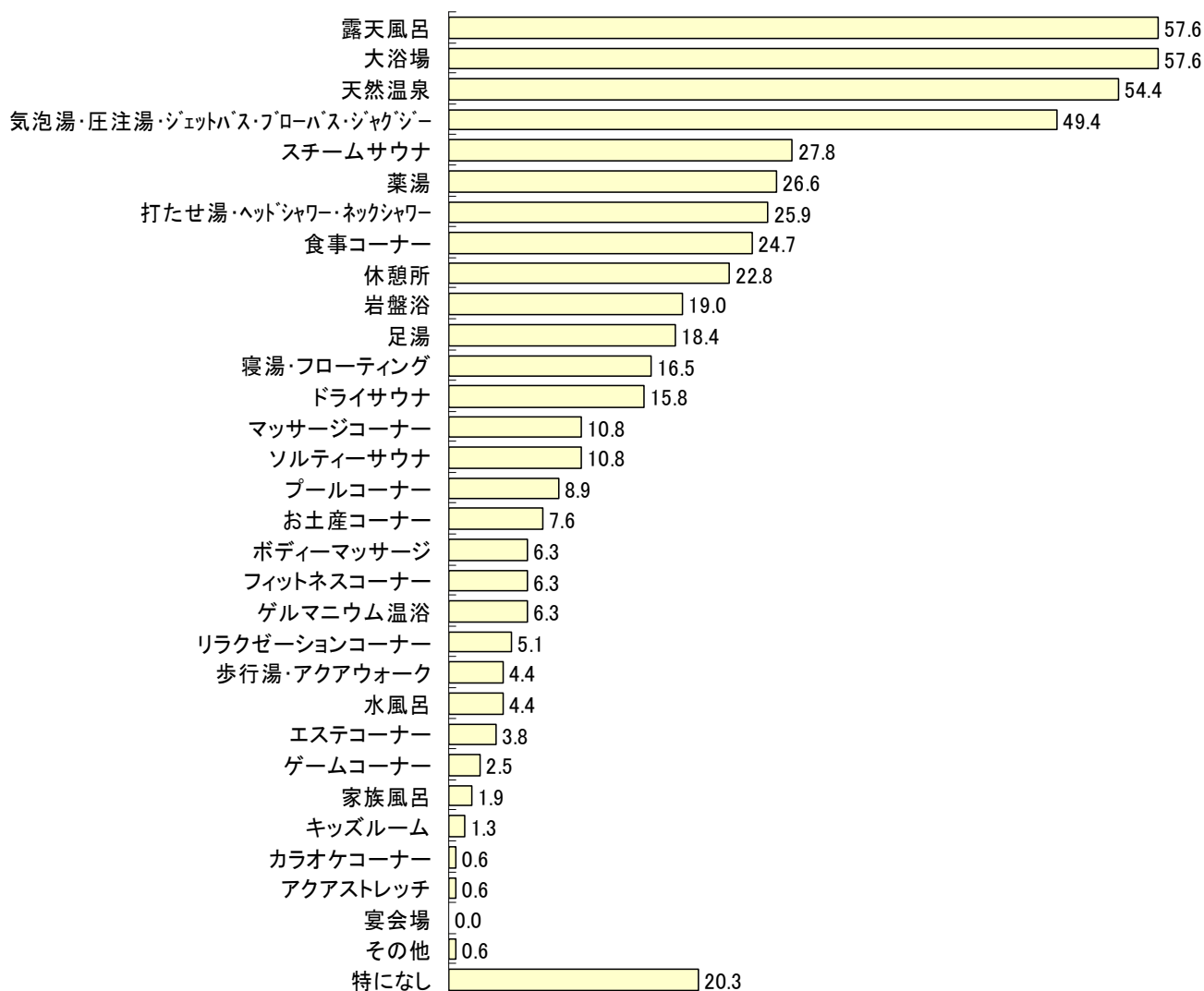
「露天風呂」や「良質の天然温泉」といえば、一般家庭のお風呂ではなかなか味わえないものです。日帰り温浴施設に「リラックス効果」はもとより、「非日常」「旅行気分」を求めているのかもしれませんが。

◇子供連れだからといって、子供向けサービスやコーナーに、特別こだわっていない。

前述の子連れ割合や、温浴施設を家族のレジャーと捉えている人の割合に比べて、「子供向けのサービスが充実している」(5.1%)や「ゲームコーナーやカラオケルームなどもあり、レジャー感覚で楽しめる」(1.3%)を重視する割合は低いようです。特別なコーナーがなくても、温浴施設そのものがレジャー感覚で楽しめるようです。

■よく利用する浴場・施設・サービス

N=158(MA) (%)



◇家庭では味わうことのできない浴場が人気。

「露天風呂」(57.6%)、「大浴場」(57.6%)、「天然温泉」(54.4%)は、一般家庭に取り入れることができない浴場です。その点が、温浴施設の醍醐味として人気があるのかもしれません。特に、30代は、「露天風呂」(74.1%)、「大浴場」(81.5%)、「天然温泉」(61.1%)を、他の年代よりもよく利用していることから、子供と一緒に入ることのできる浴場を選んでいる様子がわかります。

◇気泡湯やジャグジーなど、泡のお風呂も人気。

細かい気泡によりマッサージ効果やリラクゼーション効果が得られる「気泡湯・圧注湯・ジェットバス・ブローバス・ジャグジー」も半数弱の人がよく利用しているようです。

これら上位4種の浴場は、ある程度の規模を誇る温浴施設なら大抵設置されている定番の浴場ということもあり、どの年代も馴染みが深く、利用しやすいのかもしれませんが。

■お気に入りの施設とその理由(自由回答)

◇露天風呂など、お気に入りの浴場があるから。

やはり、「露天風呂」は定番人気ようです。露天風呂の雰囲気やそこから見える景色の良さを理由に挙げる人が多くいました。また、数年前から注目を集めて広まった「岩盤浴」や、他ではなかなか味わえない浴場・健康や美容効果を体感できる泉質のいい浴場があることを理由に挙げる人もいました。

- ・長島スパランド内の温泉施設(湯あみの島)。露天風呂めぐりが面白い。設備もきれいで充実しており、一人でも家族でもくつろげる。(30代前半)
- ・富田林にある施設は、露天風呂から金剛・葛城が一望でき、いつまでも入っていたい気分になる。(50代後半)
- ・神戸市北区のすずらんの湯。雰囲気が落ち着く。岩盤浴・スチームサウナ・酵素浴・ホットヨガがある。駐車場が広く時間制限がなくゆっくりできる。(40代後半)
- ・さがの温泉 天山の湯。足湯でドクターフィッシュがあった。また行きたい。(40代前半)
- ・高槻市摂津峡近くの「美人湯」。アルカリ性純重曹泉でお湯はヌルツとした感じですが、出たあとはお肌がツルツルしててやわらかく感じます。(60代前半)

◇非日常感や旅行気分を味わえるから。

館内の雰囲気やお土産物コーナーの併設で、旅行気分を味わえるのも魅力のようです。

- ・スパリゾートハワイアンズ(いわき市)に、たまに行く。フラダンスなどハワイを満喫できて、楽しい。(40代前半)
- ・今田温泉ぬくもりの郷(篠山市)。自然がいっぱいで建物の雰囲気が和風で昔ながらの「温泉」というところが落ち着く。小旅行したという感じがする。手作り豆腐や地元の農産物や陶芸品のお店がある。(40代後半)

◇プールや食事コーナーなど、設備が充実していて、複合的に楽しめるから。

色々な浴場やサービスコーナーが併設されていて、一日中楽しめるアミューズメント施設がお気に入りという人もいました。中でも、プールの併設は子供を連れて出かける人に人気があるようです。また、食事コーナーの料理がおいしい・リーズナブルというのを理由に挙げる人もいました。

- ・世界の大温泉スパワールド(大阪・天王寺)。お湯の種類が多い。食事やゲームコーナー等、一日遊べる。主人と子供がプールで遊んでいる間、マッサージや温泉でゆっくりできる。(40代前半)
- ・福岡県の波津(はつ)にある八幡屋。お風呂の種類が多い。薬湯や潮湯。食事もおいしい。すぐ前が海岸なので魚が新鮮。また、海の見えるすし屋台も併設。野菜も地元の新鮮なものが売り。月に1回、地元の食材を使って百種類ぐらいの料理を作って試食会をするレストランとしても、NHKで紹介されていた。(40代前半)

◇その他

海水浴・スキーなどレジャーの帰りに寄る施設や、帰省先で利用する施設を挙げる人もいました。その他、「近くて、思い立った時に行けるから」「クーポンをもらったり、レディースデーがあったりしてリーズナブルで利用しやすいから」「内容が充実しているのにお手頃感があるから」「必要なものが揃っていて、手ぶらで行けるから」「大きなテレビがあるので、長湯していても退屈しないから」「高級感があって、リッチな気分になれるから」など、様々な理由からお気に入りの施設名が挙がっていました。